



Japan Association for Diabetes Education and Care

報道機関各位

糖尿病性腎症重症化予防に取り組む保健師、管理栄養士向け 「糖尿病カードシステム 腎症重症化予防セット」提供開始

2022年6月15日

公益社団法人日本糖尿病協会（所在地：東京都千代田区 理事長 清野裕（せいの ゆたか／関西電力病院 総長）は、糖尿病医療現場で患者支援に活用されている「糖尿病カードシステム」に、糖尿病腎症重症化予防に取り組む地方自治体の保健師・管理栄養士の皆さんが活用できるセットを新たに追加し、本日から提供を開始しました。

■糖尿病カードシステムとは

糖尿病カードシステム（以下、カードシステム）は多様な患者ニーズに応じた糖尿病医療をタイムリーに提供する標準的支援ツールとして、日本糖尿病協会（以下、日糖協）が2016年に開発し、全国の医療機関での普及を進めています。

カードシステムは、糖尿病の治療を100のテーマに分類した「カード」と、そのテーマを平易に解説した「リーフレット」がセットになっています。カードシステムの利用により、医療者は、患者の病状に応じたカードを選択してテーラーメイドな治療計画を立案することができます。また、患者支援ではカードに対応する説明リーフレットを用いますが、個々の患者に必要な医療情報をリーフレットに追記して渡すことで、より個別化された支援となり、患者本人の疾患理解が深まり、知識の定着が期待できます。

カードシステムを診療に活用するには、日糖協主催の研修会への参加が必要ですが、これまでに約3,000人が参加し、約750施設での利用が進んでいます。



糖尿病カードシステム 腎症重症化予防セット

■腎症重症化予防セット

腎症重症化予防セットは、自治体の保健師・管理栄養士が住民の保健指導に活用することを目的に、カードシステムの100テーマの中から、18種類の治療テーマが入った「受診勧奨セット」と29種類が入った「地域連携セット」を用意しました。

PRESS RELEASE

「受診勧奨セット」は、自治体の特定健診で受診勧奨の必要性がある人への支援、「地域連携セット」は、かかりつけ医から保健指導を勧められた人への支援に適したカードが集められています。

- カード項目：糖尿病治療の基本、糖尿病腎症の解説、透析予防の食事・運動など
- セット導入方法：研修動画を視聴後、日糖協に導入申込み
- 導入費用：各自治体における被保険者数によって変動（30,000円～90,000円）

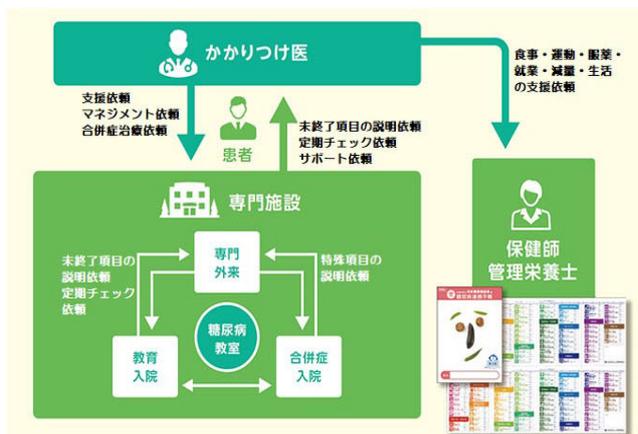
【受診勧奨セット】

①-1	血糖について
①-2	糖尿病とは
①-3	糖尿病の診断
③-1	糖尿病と合併症
③-2	細小血管障害
③-3	大血管障害（動脈硬化）ほか
⑤-1	血糖
⑤-2	血糖管理の指標
⑤-3	尿検査
⑥-1	日常生活の情報収集と問題点
⑥-4	体重管理の重要性
⑥-5	定期受診の重要性
⑦-2	治療法のオーバービュー
⑧-1	薬物療法のオーバービュー
⑩-1	運動療法のオーバービュー
⑫-1	健康的な食事（概論）
⑫-3	糖尿病の食事療法
⑬-1	糖尿病腎症の診断と治療



必ず、病院に行くようにしてくださいね。

【地域連携セット】



④-1	網膜症
④-2	腎症
④-3	神経障害
④-4	脳梗塞
④-5	虚性心疾患
④-6	末梢動脈疾患 (PAD)
④-7-1	歯周病
④-7-2	歯周病チェック
④-8	肝障害
⑤-7	腎機能の指標
⑥-7	ご家族の方へ
⑦-3	セルフモニタリング
⑦-7	自己管理の現状と改善点 (腎症)
⑧-2	薬物療法の基本的な考え方
⑧-3	薬物療法の注意点

⑨-1	内服薬
⑨-2	注射薬
⑨-6	腎機能障害と薬剤
⑩-4	運動時の注意点
⑫-4	腎症合併時の食事療法
⑫-6	減量が必要な患者さんへ
⑫-15	塩分チェック
⑬-2	糖尿病腎症の進展予防
⑬-3	透析予防と食事
⑬-4	腎症重症化予防に向けて
⑬-5	日常生活の注意 (腎症)
⑬-6	慢性腎不全と治療
⑬-7	腎代替療法
⑬-8	血液透析とは

なお、腎症重症化予防セットの普及には、協和キリン株式会社の協力を得ています。

糖尿病性腎症重症化予防に取り組む医療従事者の皆様向け

糖尿病カードシステム使いかた動画

糖尿病カードシステムを用いた保健指導 vol.1・2

制作:協和キリン株式会社
監修:公益社団法人 日本糖尿病協会

糖尿病性腎症重症化予防のためのカードシステムを用いた指導例をご紹介します!

vol.1: 受診勧奨編
vol.2: 保健指導編

PRESS RELEASE

■腎症重症化予防セット 開発の背景

糖尿病腎症は、人工透析の導入原因疾患の1位となっています。透析に係る医療費は約480万円／人／年に上り（※1）、国は健康寿命延伸と医療費適正化の観点から、2016年に「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を策定しました。自治体向け支援策として、国保ヘルスアップ事業や保険者努力支援制度等を設定し、地域の糖尿病腎症重症化予防の取り組みを支援しています。

そして、各自治体では住民の特定健診・特定保健指導を強化し、「健診結果から抽出された医療機関未受診者への受診勧奨」と、「通院中の患者で腎症重症化リスクが高いと判断された人に対するかかりつけ医と連携した保健指導」の2本柱で取り組みを行っています。

日糖協のカードシステム・腎症重症化予防セットは、この受診勧奨とハイリスク患者支援に特化したカードとリーフレットがセットになっており、住民の保健指導を担う保健師・管理栄養士に活用いただくことで、医療機関との連携による継続的支援が容易になり、腎症重症化予防につながることを目指しています。

なお、腎症重症化予防セットは、全国健康保険協会等の保険者の保健師・管理栄養士の利用も可能となっています。

（※1）出典：我が国の慢性透析療法の現状（日本透析医学会）

★腎症重症化予防セットの詳細は、**日糖協 HP→医療者の方へ→糖尿病カードシステム**からご参照ください。

■公益社団法人 日本糖尿病協会について

日本糖尿病協会は、糖尿病に関する正しい知識の普及啓発と、糖尿病医療の発展に貢献することにより、国民の健康増進に寄与することを目的に、1961年（昭和36年）に結成されました。現在の会員数は、110,000人。糖尿病患者とその家族、医師、看護師・栄養士・糖尿病療養指導士などの医療スタッフおよび糖尿病に関心のある一般市民で構成されています。47都道府県支部の下に約1,600の糖尿病「友の会」を置き、患者間の交流や、地域社会への糖尿病啓発活動を通じて、日本の糖尿病の抑制を目指しています。

（URL：www.nittokyo.or.jp / [facebook：www.facebook.com/nittokyo](https://www.facebook.com/nittokyo)）

◇本件に関するお問い合わせ◇

公益社団法人日本糖尿病協会 担当：堀田
〒102-0083 東京都千代田区麹町2-2-4 8F
TEL：03-3514-1721 FAX：03-3514-1725
E-mail：hotta@nittokyo.or.jp